

「燕市・弥彦村水道事業広域化基本計画【改定版】(案)」に関するパブリックコメントの回答について

「燕市・弥彦村水道事業広域化基本計画【改定版】(案)」に関するパブリックコメントについて、寄せられたご意見とこれに対する組合の考え方を公表します。

- 1 意見の募集期間 令和3年2月18日(木)～令和3年3月10日(水)
- 2 意見提出人数等 人数…1人、件数…8件、提出方法…電子メール1人
- 3 意見の内容と組合の考え方

番号	計画書 ページ	ご意見の内容(要旨)	組合の考え方	計画 修正 の有無
1	10	補正値を加えないと推計人口はどうか。また、どのような推計方法を取れ入れたか不明ですが、推計方法は色々なものがある以上、それらを加味した推計となっているのかどうか。直近の推計は把握していた方が良くと思います。	今回改定では人口の減少傾向を踏まえ、国の人口推計と同じ推計方法であるコーホート要因法を採用し、実績値を補正して算出しています。 実績人口を把握する方法には国勢調査と住民基本台帳の2つがあり、整合を図るために実績値を補正するものです。	無
2	14	安全な美味しい水を目指しているのであれば、燕の水としてのブランド化としてペットボトル化もあってどうか。その考えはあるのかどうか。	水道水のペットボトル化については、近隣事業体では新潟市や三条市が導入しており、水道事業のPRや災害時の備蓄用飲料水として有効な手段であると考えます。 まずは浄水場施設再構築事業を完了させ、安全なおいしい水を安定供給することを優先課題と考えていますので、事業完了後に検討したいと考えています。	無
3	14	発注作業の一括化としては高い技術を持っている大手ゼ	ご指摘のとおり、地元企業の育成・技術向上は重要課題で	無

		ネコンが理想と思いますが、業者の育成・技術向上のためにも地元業者を下請けに置いていた方が良いかと思います。協力体制は不可欠です。	あることから、統合浄水場整備や送配水管整備において、地元企業を含めた共同企業体を基本とし、協力企業としても地元企業を加えた体制としています。このような大規模工事に地元企業が携わることにより、技術力向上が図られるなど地元企業の育成が期待できるものと考えています。	
4	19	自然災害等への対応として予備力は重要かと思います。消火水量の確保は勿論のこと、他近辺市との相互救助連携もありますが、建築後では遅すぎますので何時まで検討して結論を出すのか協議が大事だと思います。	<p>浄水場の機能は、大別すると「水をつくる機能」と「水をためる機能」になります。「水をつくる機能」は、建設時点の施設能力と減少する需要量の差が実質的な予備力となります。また、自然災害や水質事故・施設事故・火災に対する備えとして、適正規模の配水池で補うことにより「水をためる機能」を確保する考えです。</p> <p>さらに近隣事業体の新潟市及び三条市と緊急連絡管による相互応援協定を締結しており、災害時の水融通を行うことで給水の安定を図っていきます。</p>	無
5	30	濁度下の中では職員は交代制での勤務となることから、濁度処理基準マニュアルを策定して徹底させることが大事かと思います。	<p>今回採用する膜ろ過方式は、既存4浄水場で導入する急速ろ過方式に比べて濁度管理が行いやすい方式です。</p> <p>運転維持管理体制は、設計建設に関係した事業者がSPC（特別目的会社）を設立し水道法上の責任を負う第三者委託により運営されるもので、濁度処理基準を含めた各種運転管理マニュアル等の策定は必須となります。また、組合が行うモニタリングなどにより、様々な濁度条件下でも確実に濁度処理できるよう、事業者に対して要望していきます。</p>	無
6	33	環境に優しい浄水場の観点から太陽光発電も大事ですが、高低差も必要ですが低水力発電設備もあってはどうか	環境にやさしい浄水場として、水位差を利用したポンプレス化（自然流下方式）や省エネ型ポンプ類の採用により、環	無

		<p>と思います。また、地域との密接な関係を築くことも必要なことから、誰もが気楽に施設と触れ合うことのできるミニ公園があってもいいのではないかと思いますし、緊急対策としての応急給水設備も完備していた方が良いかと思います。そして、日水協、市の考えもありますが、他市での災害派遣も速やかに出来るような体制整備も必要かと思いますし、川の上流には清掃センターの排水処理水も出てくるのでその対応も必要です。勿論、敷地の中には、安全性を考慮した放射性汚泥の保管場所確保も必要であり、そのための搬入路の確保も出てくるかと思っています。</p>	<p>境負荷の低減と電力費用の削減の両立を図ります。</p> <p>浄水場は飲料水をつくる施設であることを考慮し、公園など不特定多数の人が出入りする施設と一線を画す必要があります。ご指摘のような地域との密接な関係を構築する方法として、見学者対応に注力する考えです。</p> <p>非常時には統合浄水場を給水拠点として応急給水を行い、相互応援協定に基づき応援要請の際には、できる限り復旧を支援します。</p> <p>統合浄水場取水地点上流に建設予定の長岡市新ごみ処理施設は、施設からの排水を再利用し外部へ排出しない「クローズドシステム」を採用し、排水を河川へ放流しないことから、統合浄水場への影響はないと考えています。</p> <p>浄水発生土は、国が定める基準値以下であることを確認し、土木資材等への再利用を行っています。</p>	
7	39	<p>これだけ広域化を進めている現状を考えれば、燕市と弥彦の合併も視野に入れてはどうなのでしょう。</p>	<p>水道事業広域化は、浄水場の老朽化という共通課題を抱える燕市と弥彦村が共同で浄水場を更新整備することにより、広域化の効果を見出し、両市村が構成する既存の燕・弥彦総合事務組合での水道事業の共同運営に至ったものです。</p> <p>両市村の合併は水道事業の範囲を超えた事項と考えますので、回答を控えさせていただきます。</p>	無
8	51	<p>漏水率、管路の重要度とありますが、この箇所、数値は確認されて更新しているのかどうか。</p>	<p>漏水率とは、管種別継手別の特性に応じた管路の漏水率をいいます。同様に、管路の重要度とは、水道管のうち導水管、送水管、基幹管路、配水本管や重要給水施設への管路を重要管路に位置付けるものです。</p> <p>今後の老朽管路更新においては、経年化率も加え、漏水率、</p>	有

			<p>管路の重要度に応じて管路更新計画を策定するものです。</p> <p>ご指摘を受け、対象をより明確にするため、「漏水率」を「管種別継手別の特性に応じた管路の漏水率」に修正します。</p>	
--	--	--	---	--